

東北～山形新幹線400系のバリアフリー設備の覚え書き

(2014年3月作成)

◎作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

* 2010年4月18日限りで営業運転を終了した車両の記録です。

400系は、奥羽本線の福島～山形間のレールの幅を新幹線と同じ1435ミリに広げて東北新幹線との直通列車を走らせる、いわゆる「ミニ新幹線」の最初の車両として、1992年7月1日から営業運転を始めました。

その後1999年に山形新幹線が新庄まで延伸開業した際には、秋田新幹線「こまち」と同じタイプのE3系が増備され、400系とE3系の2形式が使われてきました。しかし400系は老朽化に伴い2008年から引退が始まり、2010年にE3系への置き換えが完了しました。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と表記)

12号車の1番D席(山形新幹線内で月山側)に車いす固定用のロープが設置されていますが、通路側に回転せず肘掛けも固定式のため、車いすから座席への乗り移りには不便です。

多目的室

設置されていません。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「B」と表記)

11号車の山形・新庄寄りにベビーベッド(おむつ交換台)を併設した多機能トイレがあります。

洗面所

11号車の山形・新庄寄りにありますが、車いす対応構造ではありません。

公衆電話(次ページの配置図で「P」と表記)

12号車の東京寄り(月山側)にありますが、車いす対応構造ではありません。

飲料自動販売機

2008年3月31日限りで飲料自動販売機の営業を終了しました。

受動喫煙の発生状況

2007年3月18日から全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

2007年10月21日(日曜日)東京7時16分発新庄ゆき「つばさ103号」
(東京駅発車前に調査・写真撮影)

車両番号・11号車=411-12、12号車=426-212

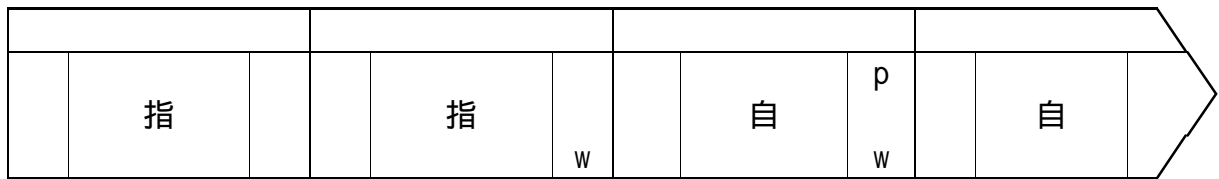
(L12編成、1992年製、製造メーカー名は未確認)

400系の車内設備の配置図
 「なすの」ではグリーン車を除き自由席です。

東京
東京

(つばさ)
(なすの)

山形・新庄
那須塩原



凡例

- 指 = 普通車指定席 自 = 普通車自由席 G = グリーン車
- H = 車いす対応座席 M = 多目的室
- B = 車いす対応多機能トイレ(ベビーベッド有、オストメイト用設備は無)
- b = 車いす非対応トイレ(ベビーベッド有)
- P = 公衆電話(車いす対応) p = 公衆電話(車いす非対応)
- C = 車掌室 k = 車内販売準備室
- = A E D (自動体外式除細動器)

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



東北～山形新幹線400系



400系の車体側面のロゴ



400系の車いす対応座席



400系11号車の多機能トイレ
(ベビーベッド有)



400系11号車の洗面所
(車いす非対応)



400系12号車の公衆電話
(車いす非対応。この電話機は後に撤去され、AED設置場所となる)



2008年3月31日まで400系の
13号車に設置されていた飲料自販機
(車いす非対応、現在は撤去)